

教員自己評価

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 保育の計画性	園の教育理念や教育方針を理解している	4.00	・主任会 学年会で園の教育内容についてよく意見交換をし、そこから保育へ繋げている。	・意見共有がされていてクラスで差のない保育がされていると思う。
	園の教育方針に共感している			
	園の方針、園長の考えについて園長や教職員と話し合っている			
	園のねらいにそった保育をしている			
	園の目指す幼児の姿を具体的にイメージできる			
	幼稚園教育要領を理解していると思う	4.00	・活動や行事では教育要領などに基づいてねらいを設定している。	・意見共有がされていてクラスで差のない保育がされていると思う。
	幼稚園教育要領について、園長や教職員と話し合っている			
	幼稚園教育要領について、幼児の姿や環境の構成、教師のかかわりなど具体的な事例を想起できる			
	園の教育課程は、幼稚園教育要領の精神をふまえ園の教育理念・教育方針にしたがい編成している	4.00	・主任会 学年会でよく話し合い活動内容を考えている。その際は、園の教育課程や教育要領に基づいている。また、幼児の実態をみて変更や追加もしている。	
	園の教育課程を理解していると思う			
園の教育課程をもとに、保育の計画をたてている				
園の教育課程は園長が中心となり、教職員と協力しあって編成している				
園の教育課程は社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている				
園の方針を指導計画や保育に生かそうとしている	4.00	・教育方針や教育要領に基づき考えているが、加えて幼児の興味関心や様子なども反映しながらよりよい活動、方法で行っている。 ・子どもたちの発達 成長 季節に応じて行事、内容を決めて取り組んでいる。	・ここ数年でイベントや日常の活動などがいろいろ縮小されているが、新しいそれに代わるものが追加されていない。くわな幼稚園の特色を取り戻して欲しい。	
指導計画は教育要領、教育課程、幼児の実態などをもとに考えて作成している				
指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している				
長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しをおこない、幼児の実態や周囲の状況の変化に対応できるように作成している				
短期の指導計画は幼児の実態に合わせて、自由に変更できるような順応性のあるものになっている				
指導計画は総合的な活動ができるように考慮し作成している				
幼児の生活が豊かになるような行事を、幼児の実態に合わせて精選している				
安全で清潔感のある環境構成をしている				
指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をしている				
幼児が自ら活動を生み出していけるような素材との出会いを考えている				

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
5	幼児が自ら活動を展開していけるような場や空間の構成をしている	4.00	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの興味あるもの、または経験して欲しいこと(年齢 時期)に応じた素材を用意し、子どもたちへの出し方 見せ方 活動の進め方をも学年で話し合っている。 保育室は子どもの興味関心のある事象や遊び 季節を取り入れている。日々の活動も反映させている。 教師が子どもたちの活動を見据えたものを掲示し、置くこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> 女の子のスカートはキュロット スボンなども選べるという。 散歩に行つて喜んでいるので、引き続き行って欲しい。 発表会の前日の預かりで職員室前で待つのが寒いし、部屋の中で待たせる方が良い。 おたよりは大事なもののだけでいいので紙ベースで配布してほしい。(発表会運動会のプログラムなど) アプリは内容が3か月で読み直せなくなるのが不便 ・個人記録がアプリになって記録として残りずらいので年度の最後にだけでも連絡帳に書いてもらえればいいと思います。
	遊びに必要な遊具や用具、素材などを質・数量を配慮して用意している			
	楽しい雰囲気の中で安定して遊びこめる環境構成をしている			
	幼児の動線、目線に配慮した環境構成をしている			
	幼児の活動がより豊かになるように、活動の展開に応じて環境を再構成している			
	幼児の発想を柔軟に取り入れて保育室の装飾や展示を考えている			
	教師の願いや意図をもって環境構成をしている			
	幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている			
	季節の変化に応じた環境構成をしている			
	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている			
6	自分の保育と計画の評価・反省を、行うようにしている	3.00	<ul style="list-style-type: none"> 実際に保育を見合う時間が取れなかったが、1年目の先生はできるだけ時間を作り、反省や話し合いの機会を持つようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ベテランの先生に指導を受けて保育できていると思う。
	評価・反省は観点を定めて行っている			
	自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている			
	自分の保育を他の教師たちにも見てもらい、それをもとに検討している			
	互いに保育をみせあって、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている			
1	朝の登園時は特に視診を大切に幼児の体調が悪くないかを確認している	4.00	<ul style="list-style-type: none"> どろけいなど走り回る遊びの時は、最初にルールを決めテラスは行かないなどルールをしっかりと守り遊ぶようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 年少テラスから職員室に向かう段差のところをつまづいて転んでいる園児をよく見る。何か改善できないか 怪我をした時の処置の仕方が(先生によると 思います)泥のついたまま絆創膏が貼られていたことがある。
	体調が悪そうなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い適宜、家庭へ連絡している			
	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な環境構成や言葉がけを行っている			
	万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置を行っている			
	園内に危険な箇所がないかどうか、危険な遊び方はないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかなどを常に観察している			
	危険が予測される場合は、幼児達と一緒に見たり、考えたりなどして、安全な使い方や遊び方について気付くことができるようにしている			
	クラスの中の水道付近の清掃や、換気、採光、室温などに気をつけている			
トイレの清掃やトイレの使い方について配慮し、幼児にも正しい使い方を具体的に示している				
	一人ひとりの幼児をよく観察するように心がけている			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察			
II 保育のあり方、 幼児への対応	<p>幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサインを受け止めるようにしている</p> <p>幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている</p> <p>見えないところで活動している幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することが出来る</p> <p>一人の幼児をじっくりとみながら、周囲にも目を配ることが出来る</p> <p>幼児のこれまでの姿、今の姿から、これからの活動のある程度予想することが出来る</p>	4.00	<p>・1対1の対応も大切にし、他の園児にも目を配るようにしている。その子どもたちにも後から声を掛けている。</p>	<p>・配慮を必要とする子への対応や突然の怪我など、担任の先生が手薄になった時にすぐサポートできる先生の配置。</p>			
	2 個々の幼児の発達の姿や課題について見通しを持って理解できる						
	幼児同士のかかわりの姿をとらえることができる						
	幼児たちがいま興味や関心を持っていることがわかる						
	幼児を自分の一方的な感じ方や考え方で決めつけないようにしている						
	幼児の理解のために保護者と話し合うことがある						
	幼児の姿を、家庭での生活をふまえて理解している						
	幼児の姿を多面的にとらえることができる						
	幼児に合わせて同じように動いてみたり、同じ目線にたつてもものを見つめたりしている				4.00	<p>・「食べられた」「食べることが出来た」など「ら」抜き言葉に注意しながら話すように心掛けた。</p> <p>・活動に困っている子どもがいたら指示ではなく、「〇〇してみる？」「〇〇やってみる？」と子どもの思いを聞きながら提案し、共に考えようとしている。</p>	<p>・子どもと向き合って遊んでくれている。話を聞いてくれている。</p>
	幼児の気持ちに共感しながら、一緒によく遊んでいる						
	一人ひとりの幼児の思いを把握して寄り添いながらかかわっている						
	幼児からのアイデアをくみとって遊びを深めている						
	「先生のようにやってみたい」と幼児が思うような、モデルとしての姿を心がけている						
	教師らしい品位ある言葉、正しい日本語の用法を心がけている						
	幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしないようにしている						
	善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でもモデルとなっている						
	幼児一人ひとりのありのままの姿を受け入れようとしている						
	幼児とのスキンシップをとるようにしている						
	幼児一人ひとりのよさを認めるようにしている						
3 幼児の話をよく聞くようにしている							
幼児が遊びを深めていくためのヒントやアイデアを提供している							
幼児の年齢に応じたわかりやすく聞き取りやすい語りかけ方をしている							
幼児が行き詰っている時に、適切な援助をしている							

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
	<p>幼児が自ら考えたり工夫したりできるような見守り方をしている</p> <p>幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉かけをしている</p> <p>禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている</p> <p>”一人ひとり”と”みんな”の関係を常に考えながらかかわっている</p> <p>幼児同士のトラブルに対し、両者の話を聞いている</p> <p>幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児の個性や性格、特徴に応じたかかわり方をしている</p> <p>幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない</p> <p>幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている</p>			
4	<p>クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている</p> <p>クラス的环境構成などについてもお互いにフランクに意見を交換している</p> <p>幼児のことについて常に保育者同間で話し合い、クラス、学年をこえて情報を共有している</p> <p>教職員全員が、すべての幼児についてある程度理解しているようさまざまな工夫をしている</p> <p>指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で特によく話し合い、共通理解をもって、対応するようにしている</p> <p>「認知」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「記憶」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「拡散思考」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>「評価」が得意な子どもを有効に導くことができる</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようなさまざまな工夫をしている</p> <p>他のクラスや異年齢の幼児たちとかかわれるよう、さまざまな保育の形態を取り入れている</p>	3.00	<p>・部屋にいたことが難しい子どもに対して、担任だけではなく学年で育てていく意識を持ち、園全体で声を掛け合うようにしている。</p>	<p>・別のクラスの園児や先生との関りがあって良いと思う。モコモコ教室や考えてみようはとてもいい取り組みだと思う。</p>
	<p>幼稚園教諭として専門知識や技能を身に付けている</p> <p>より高度な専門知識や技能を身に付けようと研修している</p> <p>幼児の性格や個性を把握するよう努めている</p> <p>保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている</p> <p>仕事の手順をよく考え、能率よく行っている</p> <p>幼児が考え、感じていることがある程度予測できる</p> <p>保育時間外でも保育者としての誇りと自覚を持った言動を心がけている</p>			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
Ⅲ 教師としての 資質や能力、 良識、適正	幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない	4.00	<ul style="list-style-type: none"> ・研修などで学んだ知識を活かしている。 ・自分自身が留意すると共に、学年や職員全体に声を掛け合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状で満足しています。
	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにする			
	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている			
	感謝の気持ちを言葉などで表わしている			
	園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにする			
	1 服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている			
	保育にふさわしい服装を身に付けている			
	自らの健康に、十分に気を配っている			
	爪の管理をしている			
	子ども(担任外も)と保護者の顔や名前が一致する			
	担任する、子どもの性格を把握している			
	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている			
	幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない			
	園の重要書類を無許可で持ち出していない			
	教材、教具の管理、点検に気を配っている			
	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している			
	現金は管理せず、事務所に預けている			
	締切りのある仕事や提出物は締切日を守っている			
	同僚や園の批判を軽はずみにしていない			
	2 教職員全員でひとつのチームであることを意識している			
学年をまとめようと努力している				
「この先生はこの程度だから」と同僚の評価を固定していない				
会議や打ち合わせは時間を厳守している				
他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる				
自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している				
会議のときは自分の意見や質問を前もって考えている				
子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談をしている				
2 係の仕事は確実に行なっている				
教職員と親しくつき合い、偏った人間関係を作っていない				
上司の指示、命令には責任を持って実行している				

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
	<p>上司や先輩に対しては敬語を用いて話している</p> <p>教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない</p> <p>園のことを、みだりに、他へ話してしていない</p> <p>主任、もしくは上司は、自分の利益より全体の利益を優先していると思える</p> <p>主任、もしくは上司を尊敬できる</p> <p>同僚の問いかけに無視することなく、答えている</p> <p>自分の思いや考えを他人に理解しやすいように伝える努力をしている</p>			
3	<p>幼児と会話をしたり遊んだりするのが好きである</p> <p>幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる</p> <p>幼児と一緒に苦しんだり考えたりすることができる</p> <p>幼児と一緒に生活を創りだすことが楽しい</p> <p>特に配慮を要する幼児が望ましい方向へと変容していく過程に喜びを感じる</p>	4.00	<p>・一人ひとりの子どもとの関わりを大切にしている。</p>	<p>・一人一人をきちんと見て対応してくれている。</p>
4	<p>幼児や教育に関する情報をたえずとらえようとしている</p> <p>幼稚園や幼児のことだけでなく、自然や社会の出来事にも興味がある</p> <p>幼稚園の仕事の他に、多様な趣味を持っている</p> <p>自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている</p> <p>地域のことに関心がある</p>	3.00	<p>・個人が興味をもった自然や社会の出来事について全体で共有していきたい。</p> <p>・地域とのつながりが薄く積極的に情報を集めていない現状であるため、関わりを増やしていけるようにする。</p>	<p>・散歩を通して自然を触れ合う機会を与えて頂いている。</p>
1	<p>クラスや子どもの様子、自分の考え方、保育のポイントなどをクラスだよりで知らせている</p> <p>欠席の場合は電話連絡をしている</p> <p>個々の子どもの様子は直接話をしたり、電話、連絡帳などを使って伝えている</p> <p>保育参観や保護者会を開いて子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努めている</p> <p>場合によっては個別に保育の様子や子どもの様子を見てもらったり、保護者と話し合ったりする</p> <p>いつでも個別懇談が行える体制であることを保護者に伝えている</p> <p>自分の考えをきちんと話し、保護者の話を心を開いてよく聞いている</p> <p>「認知」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「記憶」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p> <p>「集中思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる</p>	3.00	<p>・子どもの成長や様子が伝わるようにおたよりや個人記録で発信している。</p> <p>・活動の写真や動画を用いて様子が伝わるようにしている。</p> <p>・園内で5領域について話し合ったり、調べたりしていけると良いと思う。</p>	<p>・欠席の場合はその都度連絡がくる決まりになっているのであれば、その都度は聞いていない。</p> <p>・5領域については説明を受けている印象はない。</p>

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
IV 保護者への対応		「拡散思考」が得意な子どもについて保護者に説明できる			
		「評価」が得意な子どもについて保護者に説明できる			
		必要に応じて、ビデオ、写真、イラストなどさまざまな方法で分かりやすく伝える工夫をしている			
	2	保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視しないで、園長や主任、学年主任等に報告や相談をしている	4.00	・主任や園長に報告し、素早く対応するように心掛けている。	・上に報告し対応してくれているように見える。
		保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている			
		保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている			
		保護者の協力が必要な場合は、園長と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている			
	3	保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている	4.00	・守っている。	・バスの乗務員の方で個人情報を話している方がみえると聞いたことがあるので、控えて頂きたい。
		個々の子どもの情報は口外していない			
		保護者、家庭の情報は口外していない			
4	「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない	4.00	・普段から言葉遣いに気をつけ、職員間で互いに話し合っている。	・丁寧な言葉使いで満足しています。	
	親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない				
	電話は相手が見えないために誤解が生じやすい。手短に、簡潔に要領よく、対話することを心がけている				
	保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない				
	長期の欠席や入院等の場合は見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている				
	園のすべての保護者に対し、親しみを込めたあいさつや会話を心がけている				
	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している				
5	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	4.00	・すぐに園長 職員に相談をしている。	・クレームに対応してくれているように思う。上への報告については分からない。	
	クレームの内容によっては教職員全体で検討し、共通理解の上で対処している				
V 地域	1	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	4.00	・散歩や園外保育など事前に打ち合わせし、起こりうる事自然、人家などについて考えながら進めている。 ・話し掛けながらルールやマナー挨拶にも視点を置いている。	・地域のことについては分からない。
		地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事等について、ある程度理解している			
		地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している			

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察				
の自然や社会とのかかわり	地域の自然や機関についてマップを作成するなど、利用しやすい工夫をしている							
	小学校の教育内容について理解しようとしている 卒園した子どもの情報を得るように努めている 地域の小学校の行事や公開授業に関心をもっている	3.00	・弟妹を通して知りうる情報や保護者からの話も聞いている。 ・卒園児が送迎同行時に声を掛けたりしている。 ・卒園時や小学校との関わりがコロナ化もあり減ったため様子を聞くことがなかった。	・卒園した子どもにも積極的に話かけているように見える。				
	地域開放や子育て支援について具体的な形や内容を理解している 地域開放や子育て支援のあり方について、教職員全体で話し合っている	4.00	・検診や検査などの結果の共有 協力をし、必要であれば職員会などで報告し接している。	・分かりかねる。				
1	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している	4.00	・その日のうちに、またはその都度声を掛け合い情報や様子、経過等を共有しながら、保育に生かせるよう話し合う時間をもつようにしている。	・学年毎の先生で夕方に話し合っている姿をよく見るので、して頂いているのかなと思っています。				
	研修会や研究会に参加する場合は事前にその内容を確認したり、自分なりの考えをまとめている							
	研修会や研究会では活発に発言している							
	専門書や専門雑誌を読んでいる							
	研究保育を参観するときは自分なりの課題と視点をもって観ている							
	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行っている							
	自分の保育のあり方や悩みについて、他の教師や主任、園長と話し合っている							
	他園の見学をしたり、公開保育を観てみたりする機会をいつも探している							
	2				子どものみとりと内面理解について研修・研究を行なっている	4.00	・この場面 こんな場合など、どのような内容でどのような言葉がけで伝えるかなど共有し話し合い(意見交換)をすすめている。 ・保護者対応においても、共有し話し合い電話 送迎時 日々の連絡帳のいずれかで伝え、事後報告をしている。	・問題があった時にお伝えしたらすぐに共有してくださって預かりの先生に全て対応していただき安心してお任せすることができました。
					指導計画の作成や記録の取り方、考察のあり方に関する研修・研究を行なっている			
環境構成・再構成のあり方について研修・研究を行なっている								
指導とかかわりのあり方について研修・研究を行なっている								
自分なりの幼児観・保育観の確立のための研修・研究を行なっている								
確立された幼児観・保育観について客観的に見つめるための研修・研究を行なっている								
保育者同士の協力・連携のあり方について研修・研究を行なっている								
自らの得意分野を確立するための研修・研究を行なっている								
良識・常識・義務・マナーなどに関する研修・研究を行なっている								
保護者への対応のあり方について研修・研究を行なっている								
3	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方の研究をしている	4.00	・子どもの行動を予想しながら遊具 教材などを選択したり、準備し設定をその都度考えている。	・特に延長保育の時間帯外(遊具)で遊んでいない時間とダメな時間を子どもにはっきりと伝えて欲しい。→危ないので。				
	園の遊具や教材についてさまざまな利用方法について研究している							
	園の遊具や教材について子どもはどんな使い方をするのかの研究をしている							

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
VI 研修と研究	4	園の遊具や教材についてどのような使い方が危険かの研究をしている	3.00	<ul style="list-style-type: none"> ・発信されるものは少ないが異年齢との関わりの中でも、興味 関心を示す時はそれが次へと発展、展開できるように気にかけている。 ・季節ごとの知識はあるが、各自差がある。 ・学年で共有して遊びが深まるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードで季節の草花を知ることができた。
		園舎の構造(平屋、二階建て、三階建て)や保育室・遊戯室の位置・大きさなどが持つ特質が、幼児にとってどのような教育的な意味を持つかについて理解するための研究をしている			
		園庭や農耕栽培地、砂場、通路、池、かくれ場所などの位置、広さなどが幼児にとってどのような教育的な意味を持つか理解し、保育に生かす研究をしている			
		園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かす研究をしている			
	5	園内の環境を、いくつかのまとまりや関連性を持たせて保育の計画・実践に生かす研究をしている	4.00	<ul style="list-style-type: none"> ・担任間、学年間、職員間異種間との関わりの中での会話など有効活用出来るよう、生かせるよう日々の生活の中で、その機会を大切にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応をよくやってくれていて助かります。 ・コロナ禍の中で臨機応変にイベントなど対応していただき、ありがとうございました。
		子どもを取り巻くさまざまな状況が変化してきていることについて学習し、何が問題であるか、背景・原因・実態はどうであるかについて理解したり、学習したりする研究をしている			
		さまざまな変化の中で、幼児にとって何が問題であるか、幼稚園としてはそれに対してどのような教育を行なわなければならないかについて考えたり学習したりしている			
		クレームの対応についての勉強会をしている			
		アレルギー、自立の遅れなど、最近多く見られる問題について研究している			
		障害のある幼児に対処する保育のあり方を学習している			
		預かり保育や子育て支援などのあり方・考え方について、学習している			
	6	チーム保育について、その意義やあり方について研修・研究している	3.00	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中で保育に生かせるものを見つけれたり探したり、応用したりする機会を大切にしている。 ・コロナ化で人の話を聞く機会が減った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば季節の行事ごとなどを突然取り入れるのではなく、普段の遊びの中で徐々に子どもたちに伝えながら、自然を感じて導入して下さり楽しんでいました。
幼小連携について、その意義やあり方について研修・研究している					
危機管理について、現状やあり方について研修・研究している					
興味・人とかかわりなど、うるおいのある生活を心がけている					
	保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある	3.00	<ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中で保育に生かせるものを見つけれたり探したり、応用したりする機会を大切にしている。 ・コロナ化で人の話を聞く機会が減った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば季節の行事ごとなどを突然取り入れるのではなく、普段の遊びの中で徐々に子どもたちに伝えながら、自然を感じて導入して下さり楽しんでいました。 	
	尊敬する人の話はぜひ聞きたいと思っている				
	いろいろな人と意見を交換し合いたいと思っている				

運転スタッフ自己評価

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	--	-----	-----	-------	---------

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
I 計画性	1	園の教育理念や教育方針を理解している	3.00	・先生方のサポートに徹し、言葉掛けは挨拶や相づち程度にとどめているが、教育理念や方針についての詳細を再確認すべきと考える。	・バスに関してはとても良いと思います。
		園のねらいにそった対応をしている			
		幼稚園の名称(看板)を付けて運行することを意識している			
		仕業点検を実施している			
2					
3	幼児に教育上不適切な言葉がけをしていない	3.00	・している。	・バスの中で楽しく過ごしているようなので問題ないと思います。	
	楽しい雰囲気の中で安定して過ごせる環境構成をサポートしている				
	幼児の活動がより豊かになるように、言葉を添えている				
4	自分の運転の評価・反省を自分自身で行っている	4.00	・行っている。	・安全運転を心掛けていてくれると思います。	
II 現場のあり方 (対応と技術、運用)	1	けがや事故には特に気をつけ、年齢に応じた適切な言葉がけを行っている	4.00	・バスの車内の清掃は毎朝出発前に行っている。 ・走行中も車内を確認し、例えば窓側でウトウトしている園児がいれば、窓ガラスで頭を打たないように先生に進言している。	
		万一事故やけがが発生した場合は、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師に診てもらうなど適切な処置をとるべく行動している、またはその心の準備がある			
		幼児にとっての危険の排除を意識して行っている			
		スクールバスの中の清掃や、換気、採光、温度に気をつけている			
	2	幼稚園勤務者らしい品位ある言葉、正しい言葉の用法を心がけている	4.00	・している。	・皆さん感じが良くて特に問題ないと思います。
		幼児の心を傷つけたり、人権を無視したりする言葉や態度、かかわり方をしていない 善悪の判断、いたわり、思いやりなどの道徳性を培う上でモデルとなっている			
	3	幼児の話をよく聞くようにしている	4.00	・毎朝子ども達に声を掛けをしてコミュニケーションをとり、楽しい通園になるように心がけている。	・子どもに声をかけている姿をよく見えています。子どもも喜んでます。
		幼児をほめたり、励ましたり、めあてを持たせるような言葉がけをしている			
		極端な禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度をとっていない			
		教師の 援助 に進んで取り組んでいる(行事における机、いす移動など)			
		教師の進める活動と無関係に子どもと遊んでいない			
		幼児を無視したり、体罰を加えることはどのような場合もしていない			
	幼児の気持ちを不必要にあおっていない				
	指導上、配慮を必要とする幼児については、園の教職員全体で共通理解をもって、対応するようにしている				
	バス停に停車時、園児以外の子どもの巻き込みを確認している				
	バス停の停車位置の変更に当たっては上司や担当教諭と相談している				
	バス停に、バスが到着時、扉をあけるための「よし」を教諭に伝えている				
	左折時の左巻き込みに、注意を払っている				
路肩走行をしていない					

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
用)	雨天時、曇天時には適宜、ライトを点灯している	4.00	<ul style="list-style-type: none"> ・バス停にバスを停車させるときは圧迫感を持たれないよう十分に減速し低スピードにて進入している。又、発進時にもアイドリング状態でゆっくり発車するのを励行している。 ・運転士会にてデジタコ評価をもとに各々の欠点を探り、幼稚園の看板に恥じない運行に努めている。 ・バス停位置、経路等、やむを得ない状況により一般ドライバーから意見をいただくこともあるが、安全第一を最優先に道路交通法と園内ルールの順守に努め運行している。 ・中央自動車との連携及び日常点検の完全実施が、本年度、人身事故及び路上故障皆無に寄与していると考える。 ・コロナ禍であることから社内の清掃、消毒、換気等、衛生面には気を配り、外気エアコンも併用し、感染予防に最新の注意を払っている。 ・バスの運転には特に気を配り、子ども達の安全に配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度のバスコースで大幅な時間変更がある場合はバス利用の打診を決定前にもう一度聞いて欲しい。 ・できていると思います。工事で通行止めの際も他の道をすぐに見つけて対応していただきました。 ・雪の日は一部運休だと不公平さもでたり、危険回避のため従来通りにしたほうがいいのかと思った。
	路地の走行では、子ども等の飛び出しに留意している			
	住宅地内の「とまれ」の標識のない交差点は最徐行、もしくは一旦停車している			
	幼稚園正門に進入時、門が開いている場合は停止している			
	幼稚園正門を出発時、担当者の出発合図を確認している			
	幼稚園正門を出発時、門の閉鎖を確認してから発進している			
	幼稚園出発にあたり、園児の乗車を補助している			
	年度初めのバスコースの編成にあたり、提案している			
	走行するうちに不都合と気付いた経路などを上司や担当教諭に提案している			
	渋滞や工事回避などの臨機応変のコース変更を本部へ連絡している			
	一日の終わりに、清掃を実施している			
	一日の終わりに、外回りの点検を実施している			
	ダイヤより安全を優先している			
	スピード違反をしていない			
	黄色の信号で進んでいない			
定刻に出発している				
III 職員としての資質や能力、	仕事の時間外でも幼稚園勤務者としての誇りと自覚を持った言動と行動を心がけている	3.00	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝バスの中を清掃し、窓ふきを行っている。 ・健康管理には十分注意している。不調であればすぐ病院に行き診察をしてもらっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃している姿をよく見ます。ありがとうございます。
	幼稚園には自分自身のプライベートな生活を持ち込んでいない			
	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている			
	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めてしている			
	感謝の気持ちを言葉などで表わしている			
	園の消耗品や教材は節約して使い、後で使う人が使いやすいようにしている			
	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけている			
	運転職としてにふさわしい服装を身に付けている			
	自らの健康に、十分に気を配っている			
	爪の管理をしている			
	保護者の顔や名前が子どものそれと一致するよう心がけている			
	職務上、知り得たプライバシーに関する情報などの秘密を守っている			
	幼稚園の電話やコピー、紙や教材などを私用に使っていない			
園の重要書類を無許可で持ち出していない				
備え付け用具の管理、点検に気を配っている				

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
良識、適正	バスの中はもちろん、園内外の清掃や整理整頓を実行している			
	現金は管理せず、事務所に預けている			
	6 教員と職員とが全員でひとつのチームであることを意識している	3.00	<ul style="list-style-type: none"> ・業務上知りえた情報や園の重要書類などの秘密厳守はもちろんのこと、水道光熱費・消耗品の節約等、経費節減にも努めている。 ・また、身だしなみにも気を配っているが、特に夏場など、着替えを要する時期の為に更衣室兼ロッカー室の設置が望ましいと考える。 	・問題ないと思います。
	他の人の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べている			
	自分の意見と異なる結果となっても議論の上、決定したことは、気持ちよく協力し、実行している			
	園内、車両内禁煙を励行している			
	教職員や園の批判をしていない			
教職員のプライバシーに関することを他へ漏らしていない				
園のことを、みだりに、他へ話してしていない				
7 幼児のささやかな成長が理解できて、それを喜ぶことができる	4.00	・できる。	・出来ていると思います。	
IV 保護者への対応	1 保護者との会話は「です」「ます」で行っている	4.00	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な挨拶に心掛け、密接でも疎遠でもなく、適度な距離を持って笑顔で接するよう努めている。 	
	保育参観や懇談会は子どもについて、保育について、家庭でのあり方について共通理解を得るよう努める行事であることを理解している			
	2 保護者からの相談ごとは、自分だけの判断で返答せず、ほかの職員や職員室に伝えている。	4.00	・行っている。	
	保護者の要望等を受け止めて実行する場合は、そのことの教育的な意義付けをはっきりとさせてからにしている			
	保護者への支援が可能な部分については園長の指導の下、教職員の合意の上で行なっている			
	保護者の協力が必要な場合は、上司と協議し具体的な協力のあり方について、保護者と話し合っている			
	3 保護者の住所、電話番号など個人情報の管理については園の方針にしたがっている	4.00	・個人情報の漏洩禁止、教育の徹底を語る。	
	個々の子どもの情報は口外していない			
	保護者、家庭の情報は口外していない			
	4 「食べれない」などの「ら」抜き言葉を使っていない	3.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ルーティーンとして各バス停では会釈をしている。 	・こまめに連絡を頂けるのはとても嬉しい。
朝、バス停に近づくごとに会釈している				
保護者の国籍、思想、宗教または職業により、また子どもの性差、障害、個性差等によって区別、差別していない				
自分の領域でない質問に無理に答えようとしていない				
保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどして対応している				
5 保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、上司に連絡、報告、相談している	4.00	・している。	<ul style="list-style-type: none"> ・朝 帰りともに門のところに先生が立っていることを望む。 	
幼稚園駐車場では、保護者車両の通行優先を実行している				

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
V	地域とのかわり	1 地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	3.00	・通行させて頂いているという意識で送迎をしている。	
		2 他の幼稚園、保育園のスクールバスに会釈をしている	4.00	・している。	
VI	研修と研究	1 自らの運転のマナーや方法について、自問している	3.00	・一時停止の交差点では二段階停止を行っている。停止線のない交差点では最徐行を行い交差点では最徐行を行い確認をしている。	・お迎えの時間が早まる(バス到着時刻)が多いのが気になる。 ・万が一、運転手さんに何かが起こった時先生がバスを停めて頂けるように研修をして頂きたい。
		速度の出しすぎに注意している			
		他の走行車両に迷惑にならないように配慮している			
		地元の生活道路を通行「させてもらっている」という認識を持っている			
		発進と停車をスムーズ行うべく、心がけと検証をしている			
		バス停で、バス出発時、園児の着席を確認している			
		停止線で停止している			
		2 バス走行中に運行に必要な言動以外はしていない	4.00	・ハラスメントについては相手方によるものの比重が高く、アレルギー、障害者への対応も含めて勉強不足が否めない。	
		教諭との会話でパワーハラスメントととられる言動をしていない			
		教諭との会話でセクシャルハラスメントととられる言動をしていない			
3 朝の出発にあたり、教諭と朝の挨拶を交わしている	3.00	・している。	・新しくできた遊具について、どのように使われているか知りたい。		
4 良識・常識・義務・マナーに留意している	3.00	・危機管理については、費用が掛かるので、理想と現実との乖離はまだまだ課題が残るところである。			
園の遊具や教材の使い方の危険性を理解している					
アレルギー、自立の遅れなどの問題について理解しようとしている					
5 障害のある幼児に対処する保育のあり方に理解を寄せている	4.00	・している。			
危機管理について、現状やあり方について研修・研究している					

行事を通して

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
入園式	保育者	幼児が活動に参加することで、充実感を味わう事が出来るよう、幼児の行動を見守りながら適切な援助を行うようにする。	4.00	・幼稚園が楽しいと思ってもらえるように、目線を合わせ笑顔で接した。手遊びダンスと大きく動きをつけたり、工夫したりすることが出来た。	
	幼児	温かい触れ合いの中で、存在感や充実感を味わう。	4.00	・近くに保護者がいたことで安心して参加できていた。たくさんの手作りパペットがいる事で、温かい雰囲気の中楽しく過ごす事が出来ていた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
保護者	幼稚園と共に幼児を育てるという意識を高める。	3.90	・教育課程を渡したり、延長の話を動画で送ったりすることで、園の方針や考え方など伝え、共に育てるという事を感じてもらえたと思う。また、トイレトレーニングの事を知ることが出来た。保護者からの質問には、丁寧に答えるよう心掛けた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
始業式	保育者 進級の喜びや不安を受け止め、信頼関係を築く一歩であることを認識し、一緒に遊び一人ひとりの行動を見守りながら援助を行う。	4.00	・「ピカピカの名れだね」「お兄さんお姉さんだね」など声を掛けて、進級と一緒に喜んだ。また、一人ひとり名前を呼んだり、触れたり、一緒に遊びを楽しんだりして温かい雰囲気作りをした。	
	幼児 新しい友達や先生と共に過ごすことの喜びを味わう。新しい部屋や自分の靴箱、ロッカーの場所を知る。	4.00	・壁面の作品やクラスの友達の表を話題にして関心を向けられるようにした。靴箱、ロッカー、トイレなど一緒に確認をして覚えられるようにした。	
	保護者 教育方針を知らせ、信頼関係の基盤作りをしていく。	4.00	・教育課程を配布して読んで頂けるようにした。挨拶の際に、目標や展望をしっかりと伝えた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
親子のつどい	保育者 ・遊びを通して親子、友だち、保護者間の関わりを築けるよう努める。 ・親子で触れ合いながら、身体遊びの楽しさを体感し、進んで運動しようとする意欲を養う。	3.80	・運動することを楽しいと思えるように、保育者自身も笑顔で参加して盛り上げるよう努めた。また親子で触れ合ったり、一緒に楽しんだりできるよう遊びの内容を工夫した。	・昼までの形で充分、ふれあいが出来ました。
	幼児 ・先生や友達、保護者と共に過ごす喜びを味わい、愛情や信頼感をもつ。	3.80	・緊張していた子どもも保育者、友達と遊んでいるうちに段々ほぐれて楽しむ姿が見られた。保護者や友だちと共に過ごす楽しさを共有し、受け止めるようにした。	
	保護者 ・子どもたちと一緒に遊ぶ中で、保護者間や幼稚園との情報交換の場にしてもらい信頼関係を作る。	3.80	・情報交換の時間を設け名前や学区などを知ってもらうことができた。集団生活の様子を見てもらい、普段の様子を積極的に伝えた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
避難	保育者 ・あわてず、安全を第一に子どもを非難させることが出来る。	3.91	・指導案をよく事前に読み、学年会でも流れを話し合いしっかり訓練に臨んだ。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
訓練 1学期	幼児	・危険な場所、危険な遊び方、災害時の行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 ・訓練ということを理解して、怖がらずに避難することが出来る。 ・口を閉じ、保育者の話をよく聞いて、俊敏に行動することが出来る。 ・怖がらず階段を降りることが出来る。(年長組)	3.91	・どう行動すべきか子供が自分で考える様	・訓練の様子を詳しく動画等で教えて頂けると少し安心できる。

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
公開保育 1学期	保育者	・幼児の主体的な活動を促すために保育者は多様な関わりが必要であることを踏まえ、幼児の情緒の安定や発達に必要な豊かな経験が得られるよう、活動の場面に応じて適切な援助を行う。	3.80	・進め方や言葉掛けやり方等学年で詳しく共有し、適切な援助が出来るようにした。十分に遊びを楽しむことが出来るよう環境を整えた。	・午前午後に分かれて行っているのが良い。 ・特別なことをしている様子ではなく、普段に近い様子を見たい。
	幼児	・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で活動することの充実感を味わう。 ・自然などの身近な事象に関心を持ち、取り入れて遊ぶ。	3.90	子どものやりたい気持ちを認め、楽しさおもしろさを共有した。準備や片付けなど自分たちで出来ることは見守った。	
	保護者	・日々子ども達に関心のある出来事や様子、活動内容をあらゆる手段を用いて伝え、安心して園に子ども達を任せられるという環境づくりをする。	3.90	・活動を通して普段の子どもの様子を見てもらえるようにした。挨拶や幼児観でクラスの様子を伝えることが出来た。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
プール遊び	保育者	・安全管理を十分行いながら、水遊びの楽しさを知らせる。	4.00	・毎回プールに入る都度、体操の大切さ・安全面の重要点・水質検査・プールの異常など必ず注意してすすめた。また、プール内でも、子どもたちの様子を十分把握できるよう目を配った。	・引き続き安全管理をしっかりして頂きたい。
	幼児	・わく 怖がらずに水の中に入ることが出来る。 ・少 水に慣れて遊ぶことが出来る。 ・中 水に慣れて顔つけが出来る。 ・長 伏し浮きが出る。	4.00	・年少・子どもたち様子に合わせて、水に慣れ、段階をおえるよう遊びを工夫して楽しんだ。年中・遊びやゲーム、体操の中で少しずつ慣れ、出来るようになったことを自信につなげ、楽しんだ。年長・無理強いせず段階を追って、水遊びから始め、楽しむ中で、自ら楽しさを見出し、自信へと変わった。	

		ねらい	達成度	課題	評価委員の考察
	保育者	・安心して参加できるよう、子どもに寄り添い安全面に配慮し取り組む。	3.90	・安心して参加出来るよう「今から何が始まるのかな?」「楽しみだね」と期待が持てるような言葉掛けをした。緊張している子どもに寄り添い、登園時に髪型や持ち物についてさりげなく声を掛け、リラックスして始められるよう心掛けた。 ・熱性けいれんの子どもやトイレに起こす子どもに対し、常に気を配るようにした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
お泊り保育	幼児	・友達と泊まれたことに、充実感を味わう。 ・身の回りのことを積極的に行い、自立の心を養う。	4.00	・自分で出来ることは見守り、援助が必要な子ども子どもには配慮するようにした。 ・朝起きて、泊まることが出来たことやパンツで寝ることが出来たことについて「泊まれたね」「素敵」と認めるようにした。	・朝 帰る時の時間に余裕がほしい。(こども園の登園時刻とかぶらないように)
	保護者	・子離れの経験をし、幼児の成長を喜ぶ。	4.00	・不安な保護者の方には、気持ちを受け止め質問など出来る限り答えられるようにした。 ・2日間のエピソードを後日話すようにした。「当日は元気に過ごしていただきました」と伝え、安心出来るようにした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
新入園児面接	保育者	・個々の子どもを知る手立てとする。動き、言葉、視線など違和感、発達の遅れを見つける。	3.90	・一人ずつ面接を行うことで子どもとじっくりかかわるようにした。また、子どもの動き、言葉を引き出せるようにゆったりとした言葉掛けや雰囲気大切に知る手立てとした。	
	幼児	・幼稚園の雰囲気を感ずる。遊びに参加することが出来る。	3.90	・遊びに興味を持てるよう子どものやりたい意欲が出るように道具の出し方や言葉掛けを工夫した。	
	保護者	・園に信頼を寄せられる	3.90	・安心して頂けるよう笑顔で接し、丁寧にかかわるようにした。また、家庭での心配事や困っていることなど共感し、少しでも解決できるよう提案したり、一緒に考えたりして信頼が寄せられるようにした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
スポーツフェスタ	保育者	・皆で体を動かすことを楽しみ、達成感を持たせる。	3.90	・体操や表現、かけっこ、行進でも身体を大きく動かし楽しく参加できるよう、保育者が手本やきっかけとなれるよう200%で動くよう心がけた。 ・力を合わせることや応援することで楽しみながら達成感を得ることができた。	・保護者の登園時刻をクラス毎にずらす事で(年少)受付も見通しが出来てやりやすかった。 ・駐車場→縦列で駐車する所だと前の人が出てくれないと出られなくて困っている人がいる。 ・行事直前に配信されるおたよりではあまり伝わらず(内容は分かるけど)個々の様子は…クラスだより等で伝えてくれると気持ちの変化などより伝わり当日を迎えられる。 ・お迎えの時など先生に直接話さないと伝わらない。
	幼児	・体を動かすことの嬉しさや楽しさを味わう。	3.90	・思い切り身体を動かした後の爽快感や疲労感を共有していけるようにした。 ・練習の前は子ども自身で準備をし、練習の後と一緒に楽しい遊びをしながら片づけをするなど意識して行った。 ・種目ごとにみんなで力を合わせることで出来た喜びを感じる事が出来た。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
保護者	・集団との関わりを通して子どもの成長に接する。	3.90	・直接や手紙(おたより)を通して子どもの様子(うまくいっていることだけでなく、苦手な部分)や気持ちの変化を伝え、成長を感じられるようにした。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
公開保育2学期	保育者	3.70	・普段の遊びの繋がりを大切にし、子どもの発想や声を受け止めながら進めた。 ・たくさん遊び込む時間を設けた。	・すぐく伝わってきた。 ・親が当日見て、活動内容(目的)が分かりやすい題材の方がより子どもの様子が分かりやすい(日常)
	幼児	3.80	・1人ひとりのアイデアを取り入れ、みんなで協力して作れるようにした。	
	保護者	3.80	・幼児観教材観でどこからどうこの活動にいったのかを詳しく書き伝えた。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
交通安全指導	保育者		・活動の前にクラスで標識クイズを取り入れたり子供とルールを確認したりして、交通ルールを知ることが出来る様にした。	・直接警察の方が来て頂いていろいろ教えてもらえる機会は貴重で子どもたちの頭の中でも印象強く残って良いと思った。
	幼児		・子どもと一緒に手をあげたり、左右を確認することを話を聞きながら練習をした。始まる前に何をするかを伝え話が聞けるよう心を落ち着かせてから参加した。3人1グループずつの進行することで一人ずつ丁寧に伝えることが出来た。・警察の話を聞き、横断歩道を渡ることが出来た。またバトカーに興味を持ち中を見せてもらい喜んでいる様子があった。質問コーナーがあっても楽しかったのかなと思いました。	

	ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
避難訓練2学期	保育者		・災害時の行動について、子供自身が考え納得して行動出来る様に事前にクイズを用いて話をした。	・毎回ファミリーマートの所までの避難しかしてないので年に一度は高波を想定して、避難してみても良いような気がする。本当にそこまで行けるのか不安に思う。どれくらい時間がかかるかなど保護者もイメージもしやすい。
	幼児		・ねらいにも都珠いて、災害氏の行動の仕方がわかるようになど子供に話をしてから行った。	

	ねらい	達成度
--	-----	-----

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
クリスマス会	保育者	・クリスマスの楽しい雰囲気を作り、夢をもたせる。	4.00	・クリスマス製作や部屋の飾りつけを行い、期待が持てるようにした。	・このまま続けてもらえれば嬉しい。特別メニューは毎年大喜び。
	幼児	・絵本や物語などに親しみ、興味を持って想像する楽しさを味わう。	4.00	・クリスマス会当日は「サンタどろけい」や「魔法オニのサンタバージョン」などクリスマスならではの遊びを楽しむようにした。 ・絵本をたくさん読み、想像力を膨らませた。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
学習発表会	保育者	・幼稚園生活の自然の流れの中で生活に変化や潤いを与え、幼児が主体的に楽しく活動出来るようにする。 ・発表会をみんなで一緒にする達成感を体験させる。	3.75	・子どもたちとイメージを出し合ったり、話し合ったりしながら共に考え、アイデアを出してくれたことを認め、自信や達成感に繋げていた。 ・目標を立て、それに向かって協力できるように話し合いを細かめにするよう伝えた。	・オープニングがまた今年からやってもらえて良かった。 ・午後の部が始まる時は扉は閉めた方がメリハリがついて時間通り進むと思う。思ったよりみんなが来るのが早いので集まっている気がする。 ・座席について 蜜を気にする人もいるので席に空きがあるなら 2席 空 2席で間をとって座っても良いと思います。帽子を被ってる人が前席にいて視界に重なる人がいた。 ・保護者席から自分の子どもが先生と(指揮者)と重なって全く見えなかった人がいる→確認できればほしい。見えるような工夫 ・最前列も近すぎて見つらいバターンもある。
	幼児	・感じたこと、考えたことを自分なりに表現して楽しむ。 ・生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ。 ・幼稚園生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ・自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。	4.00	・表現の表を作り、話しの内容が理解しやすいよう、写真や絵を使い、イメージがふくらむようにした。また、それを見て振り返り次に活かせるようにした。 ・他のクラスや学年と見せ合いをして、互いの良い所や改善点を言えるよう場を設けた。 ・見せ合うことで意見をたくさんもらい、次に繋げられるようにした。	
	保護者に対するねらい	・一年の集大成として子どもの成長を目の当たりにすることで親の成長を助長する。	3.90	・なぜこの話しになったか、どのような言葉・話し合ったかを幼児親に詳しく書いて知らせた。 ・練習でのやりとりや本番の裏側の様子、成長した姿を保護者に伝えた。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
お別れ会	保育者	もうすぐ年長児やクラスの友達とお別れということを知らせ、みんなで過ごす時間を楽しませる。	4.00	・園で過ごした時間を振り返りながら、大きくなったこと、楽しかったことなど話し、残りの時間が大切になるよう努めた。みんなが楽しめるよう、お別れ会の時のルールや約束事を伝え、参加した。	・先生達の劇を喜んでみている。小学校についてもいろいろ教えてもらったと4月からの楽しみになった。
	幼児	他の学年や他のクラスの友だちと体を動かすことを楽しむ。	4.00	・新しく年長になる年中児のために卒園児がじゃがいもを植えてくれたことを伝え、代々畑を育てていることなどを話し期待が持てるようにした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	--	-----	-----	-------	---------

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
卒園式	保育者	大切な時間を共に過ごし温かく送り出す。小学校生活へ興味、関心をもてるよう助長する。	4.00	・笑顔で温かく送り出した。「おめでとうや」「小学校へいってらっしゃい」と喜びの気持ちを伝えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真があると卒園式で写真を撮る事なく子どもをじっくり見られるのでは。 ・当日 東海フォトデザインシステムのムービーがあるのか知りたい。写真があるのか知りたい。
	幼児	長 限られた時間の中で、一つひとつの体験を大切に、共に楽しみ共感し合う。在 様々な関わりを通して年長児の卒園することを知り、親しみや畏敬の念を持つ。	4.00	・年長：最後の大切な時を日常クラスでしている遊びや春を迎えたことを知る散歩などを通して共有共感し楽しんだ。 ・在園児：たくさん関わってもらったことを思い出し感謝の気持ちを伝えた。	
	保護者	子どもと共に成長の区切りを知り卒園を喜ぶ。地域、家庭での新しい生活のリズムへ配慮する。	4.00	・子供の成長と共に喜び、たくさん話すようにした。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
外の活動一学期	保育者	・やりたいと興味を持てるような声かけや援助を行う。	3.80	・積極的に遊びを提案したり、誘ったり子どもの遊びたい気持ちを、引き出せるようにした。	<ul style="list-style-type: none"> ・先生たちが子どもたちと一緒に遊んでくれる姿が見られて嬉しい。 ・新しく出来たトンネルの使う目的がよく分からないけど喜んでいる。
	幼児	・いろいろな遊びをやろうとする。 ・遊び方や片付ける習慣を身に付ける。	3.50	・片付け方や、片付けの場所を丁寧に伝えた。 ・時には、数を数えたり、色の仲間で集めたり、競争したりして片付けも楽しく出来るように声を掛けた。	

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
二、三学期 外の活動	保育者	(わく・年少) 取り組めた姿勢を十分に認め見守りながら適切な援助を行う。(年中・長) 主体性を大切に、自信につながるような言葉がけ、援助を行う。	4.00	・活動のねらいを学年会で話したりかんがえたりしつつ、コスモスポーツクラブの先生の援助方法を参考にして援助をした。又、子ども達からのやってみたいを大切に、その姿を認めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も続けてほしい。その様子もどこかのタイミングで保護者に伝わる(見れる)と嬉しい。(配信でも)
	幼児	(わく・年少) 自分の力で行動することの充実感を味わう。(年中・年長) 身近な物や器具に興味を持って関わり、考えたり試したりして工夫して遊ぶ。	4.00	・子どものやってみたい気持ちをしっかりと受け止め、頑張っている姿や出来たことは認め、自信に繋がる声掛けをした。年長組を見て、挑戦しようとする姿があった。関わりながら、より挑戦する意欲を高められるように声をかけた。	

★前年度の意見を踏まえて、今年度の評価委員会は全学年を混ぜたグループにした。

		ねらい	達成度	課題・対応	評価委員の考察
--	--	-----	-----	-------	---------